

「にっこり あいさつ」「はっきり すてきなことば」「やる気いっぱい 心ひとつに」を目標に掲げ、自律した生活能力やコミュニケーションの育成を目指しています。地域社会や外部施設との連携、およびICTの活用による主体的・対話的で深い学びの推進が大きな特徴です。また、特別支援教育や日本語指導の充実を図り、一人一人の特性に応じたきめ細やかな支援体制を構築しています。さらに、近隣の保育園等から中学校までを見据えた保幼小連携教育を強化し、9年間の切れ目ない教育課程の実現に努めています。

1 教育目標

児童にとって分かりやすく、親しみやすい言葉で構成しています。

「にっこり あいさつ」「はっきり すてきなことば」「やる気いっぱい 心ひとつに」

また、特別支援学級「竹の子学級」においては、社会の中での自立した生活を目指し、心身の障害の特性や発達段階に応じた教育を推進することを目標にし、共通の目標を掲げています。

2 目指す児童像

教育目標に対応し、具体的に以下のような児童の姿を目指しています。

- ・ 自己管理能力 「にっこり」

挨拶や返事を意識し、気持ちよく学校生活を送ることができる姿。

- ・ 意思伝達力 「はっきり」

自分の気持ちを言葉で伝えることができる姿。

- ・ 自己指導力 コミュニケーション力 「やる気いっぱい」

何事にも前向きに挑戦し、友達に思いやりをもって接したり、よりよい人間関係を築いたりできる姿。

3 教育目標を達成するための基本方針

目標達成のために、以下の5つの柱に基づいた教育活動を展開しています。

(1) 「知」「徳」「体」の教育内容の充実

- ・ 学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びを実現し、個性や創造性を伸ばす。
- ・ 人権教育や道徳教育を通じ、自尊感情や他者との良好な人間関係形成力を育む。
- ・ 運動や食育を充実させ、生涯を通じた健康の基盤を養う。

(2) 就学前教育の充実

- ・ 近隣の保育園等との連携・交流を深め、小学校生活への円滑な接続を図る。

(3) 多様な児童に対する支援の充実

- ・ 一人一人の個性や能力に合わせた最適な学びを支えとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした全校的な支援体制を構築する。

(4) 教育環境の整備

- ・ インターナショナルセーフスクール (ISS) 認証校としての経験を生かし、児童自らが危険を回避できる力を高める、安全・安心な学校づくりを推進する。

(5) 学校と家庭・地域との連携

- ・ SDGsの目標達成を軸とした「社会に開かれた教育課程」を実現する。
- ・ コミュニティスクールとして、イケ・サンパークやサンシャインシティ、地域の大学等と、特色ある施設や人材と積極的に連携し、地域の教育力を生かした学校づくりを行う。

これらの目標と方針を軸に、通常学級と特別支援学級「竹の子学級」との交流や、地域資源を活用した特色ある教育活動を展開していきます。

<特別支援学級「竹の子学級」との交流について>

児童が豊かな人間関係を築けるよう、意図的かつ計画的に多くの機会を通じて行われいます。

1 学校行事や校外学習での交流

多くの学校行事において、通常学級の児童と共に行動することで、集団活動への参加意欲や社会性を養っています。

- ・ 行事・イベント：運動会の学年演技、移動教室、遠足、社会科見学、校外学習、出前授業、まとめ展（作品発表会）など。
- ・ 独自の活動：竹の子学級児童が作成した「竹の子カレンダー」を贈呈する活動も交流の一環。

2 日常的な活動や特別活動での交流

- ・ なかよし班（縦割り班活動）：年間を通じて、通常の学級の児童と一緒に活動し、異年齢集団の中での関わりを通して、思いやりの心育てます。
- ・ クラブ・委員会活動：共通の活動を通じて、他者と協力する姿勢を学びます。
- ・ 音楽鑑賞・演劇鑑賞：音楽鑑賞教室（5年）邦楽鑑賞教室（6年）日生劇場（3年）ライオンキング鑑賞（4年）こころの劇場（6年）を通常の学級の児童と一緒に鑑賞する機会を設けています。

3 教科・学習活動での交流（共同学習）

児童一人一人の実態や発達段階、障害の特性に応じて、学習内容を共有する試みが行われています。

- ・ 共同学習の実施：教科や学習単元、特別活動の領域ごとに、必要に応じて通常の学級の活動に参加します。
- ・ 事前学習の共有：移動教室の事前学習を通常学級と共同で行うことで、行事への関心を高めるとともに、児童同士の交流を深めています。

4 交流を支える指導と配慮

交流が円滑に行われ、児童の学びとなるよう、以下のような丁寧な指導が行われています。

- ・ 事前・事後指導：交流前には適切な言葉遣いなど事前指導を行い、交流後には振り返りを行うことで、児童が自己肯定感をもてるように配慮しています。
- ・ 多角的な連携：通常の学級だけでなく、近隣の特別支援学校や区内の他校の特別支援学級（五校交流）とも積極的に交流し、コミュニケーション能力の育成を図っています。

このように、単に行動を共にするだけでなく、学習・生活の両面で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化に充実させることを目指しています。

- ・ 令和8・9年度 豊島区教育委員会研究開発指定校
令和8年12月4日（金）研究発表会
- ・ 令和9年度 全国小学校理科教育研究協議会（東京大会）研究発表校
令和9年11月12日（金）研究発表会